

- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築する必要
- 河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者※により流域全体で行う「流域治水」へ転換する※国・都道府県・市町村・企業・住民等

課題

- ・気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築する必要
- ・行政が行う防災対策を国民にわかりやすく示すことが必要

対応

- ・河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換
- ・令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の一級水系でも、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像「流域治水プロジェクト」を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速【全国の1級水系を対象に、夏頃までに中間とりまとめを行い、令和2年度中にプロジェクトを策定】

■「流域治水」への転換

- ・「流域治水」へ転換し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減・早期復旧・復興のための対策を多層的に推進
- 【これらの取組を円滑に進めるため、河川関連法制の見直しなど必要な施策を速やかに措置】
- ①氾濫をできるだけ防ぐ ②被害対象を減少させる ③被害の軽減・早期復旧・復興

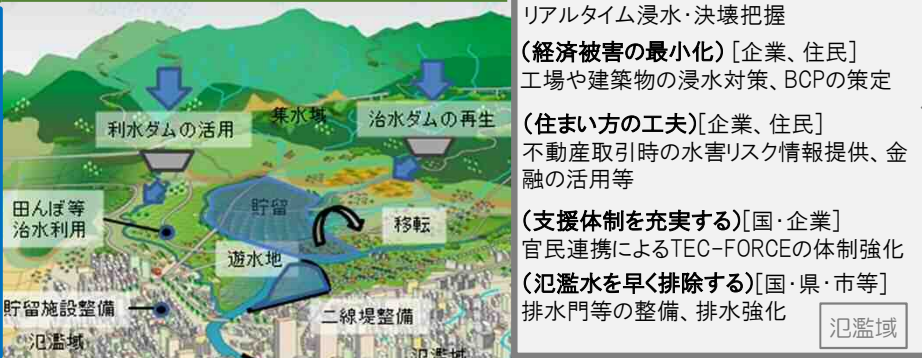
（ためる、しみこませる）[国・市、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、田んぼやため池等の治水利用
※グリーンインフラ関係施策と併せて推進

（よりリスクの低いエリアへ誘導）
土地利用規制、移転促進、金融による誘導の検討等 [市、企業、住民]
（被害範囲を減らす）二線堤等の整備[市]

（土地のリスク情報の充実）[国・県]
水災害リスク情報の空白地帯解消
（避難態勢を強化する）[国・県・市]
長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

（ためる）
[国・県・市、利水者]
利水ダム等において貯留水を事前に放流し水害対策に活用

遊水地等の整備・活用[国・県・市]
（安全に流す）[国・県・市]
河床掘削、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備
（氾濫水を減らす）[国・県]
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等



グリーンインフラの活用

自然環境が有する多様な機能を活用し、雨水の貯留・浸透を促進

雨庭の整備（京都市）

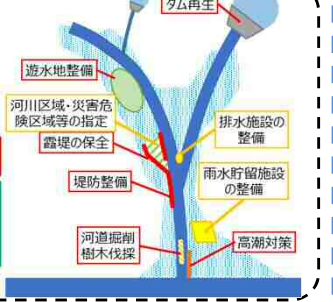
※県：都道府県、市：市町村を示す
[]内は想定される対策実施主体を示す

■流域治水プロジェクト

- 全国の1級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- ・戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容※等をベースに、夏頃までに関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、早急に実施すべき流域治水プロジェクトを令和2年度中に策定

※現行計画では、国管理河川で約7兆円の事業を実施中

- 【イメージ】**
- ★戦後最大（昭和XX年）と同規模の洪水を安全に流す
 - 浸水範囲（昭和XX年洪水）
 - ★対策費用
 - 河川対策
 - 流域対策（集水域と氾濫域）
 - ソフト対策（水位計・監視カメラ設置、マイタイムライン作成等）



■利水ダムの治水活用

- ・全国の1級水系（ダムがある99水系）毎に事前放流等を含む治水協定を締結し、新たな運用を開始【令和2年出水期から】
- ・2級水系についても同様の取組を順次展開

（今後の水害対策の進め方）

1st 近年、各河川で発生した洪水に対応

- ・緊急治水対策プロジェクト（甚大な被害が発生した7水系）
- ・流域治水プロジェクト（全国の1級水系において早急に実施すべき事前防災対策を加速化）

速やかに 気候変動を踏まえた河川整備計画等の見直し

2nd 気候変動の影響を反映した抜本的な治水対策を推進

- ・治水計画の見直し
- ・将来の降雨量増大に備えた対策

「流域治水プロジェクト」に基づく事前防災の加速

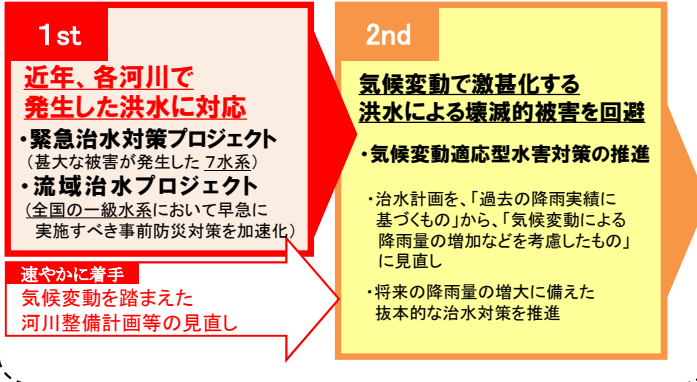
課題

◆ 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築することが必要

対応

- ◆ 河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「**流域治水**」へ転換
- ◆ 令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の一級水系でも、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像「**流域治水プロジェクト**」を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速
- ◆ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、夏頃までに関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、「流域治水プロジェクト」を令和2年度中に策定

今後の水害対策の進め方（イメージ）



全国7水系における「緊急治水対策プロジェクト」

◆ 令和元年東日本台風(台風第19号)により、甚大な被害が発生した7水系において、国・都県・市区町村が連携し、今後概ね5～10年で実施するハード・ソフト一体となった「緊急治水対策プロジェクト」に着手。

水系名	河川名	緊急治水対策プロジェクト (概ね5～10年で行う緊急対策)		
		事業費	期間	主な対策メニュー
阿武隈川	阿武隈川上流	約1,840億円	令和10年度まで	【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備 【ソフト対策】 支川に危機管理型水位計及びカメラの設置 浸水リスクを考慮した立地適正化計画展開 等
	阿武隈川下流			
鳴瀬川	吉田川	約271億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、堤防整備 【ソフト対策】 浸水想定地域からの移転・建替え等に対する支援 等
荒川	入間川	約338億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備 【ソフト対策】 高台整備、広域避難計画の策定 等
那珂川	那珂川	約665億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備 【ソフト対策】 霞堤等の保全・有効活用 等
久慈川	久慈川	約350億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、堤防整備 【ソフト対策】 霞堤等の保全・有効活用 等
多摩川	多摩川	約191億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、堰改築、堤防整備 【ソフト対策】 下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化 等
信濃川	信濃川	約1,768億円	令和9年度まで	【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備 【ソフト対策】 田んぼダムなどの雨水貯留機能確保 マイ・タイムライン策定推進 等
	千曲川			
合計		約5,424億円		

※令和2年3月31日 HP公表時点

全国の各河川で「流域治水プロジェクト」を公表

- ◆ 全国の一級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- ◆ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、プロジェクトを策定し、ハード・ソフト一体の事前防災を加速

【イメージ】 ○○川流域治水プロジェクト

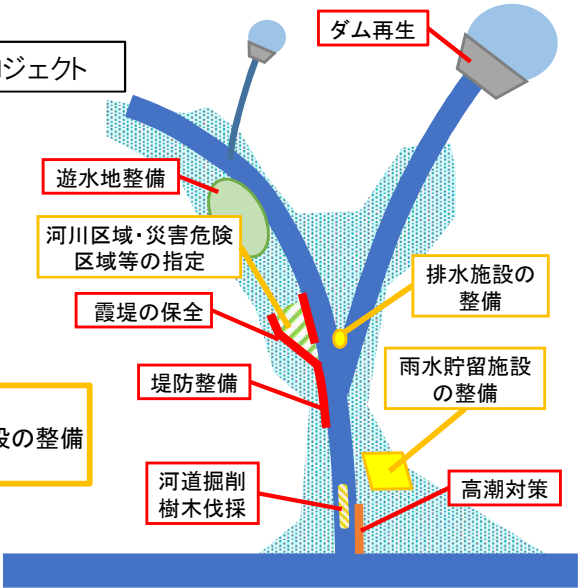
- ★ 戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
- ★ 〇〇…浸水範囲(昭和XX年洪水)

(対策メニューのイメージ)

- **河川対策**
- ・堤防整備、河道掘削
 - ・ダム再生、遊水地整備 等

- **流域対策(集水域と氾濫域)**
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
 - ・土地利用規制・誘導 等

- **ソフト対策**
- ・水位計・監視カメラの設置
 - ・マイ・タイムラインの作成 等



流域治水対策(河川、下水道、砂防、海岸、農業水利施設の整備、 水田の貯留機能向上、国有地を活用した遊水地・貯留施設の整備加速)

概要 要: 河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策「流域治水対策」を関係省庁が連携して推進する。
 (河川・ダム) 河道掘削、堤防整備、堤防強化、耐震対策、ダムの事前放流の推進、ダム・遊水地の整備等
 (下水道) 下水道による都市浸水対策、下水処理場・雨水ポンプ場の耐水化 (砂防) 土砂災害対策 (海岸) 津波・高潮対策
 (農業水利施設) 既存農業水利施設の補修・更新、農業水利施設の整備
 (水田) 水田の貯留機能向上のための田んぼダム等に取り組む地域で実施される農地整備事業を推進
 (国有地) 未活用の国有地を活用し遊水地・貯留施設の整備

府省庁名: 国土交通省、農林水産省、財務省

本対策による達成目標(抜粋)

◆中長期の目標

(河川・ダム)

・1級河川における戦後最大洪水等に対応した河川の整備率
 現状: 約65%(令和元年度) ⇒ 中長期の目標: 100%
 ※本対策による達成年次の前倒し: 令和32年度頃 → 令和27年度頃

・2級河川における近年災害の洪水等に対応した河川の整備率
 現状: 約62%(令和元年度) ⇒ 中長期の目標: 100%
 ※本対策による達成年次の前倒し: 令和32年度頃 → 令和27年度頃

(農業水利施設)

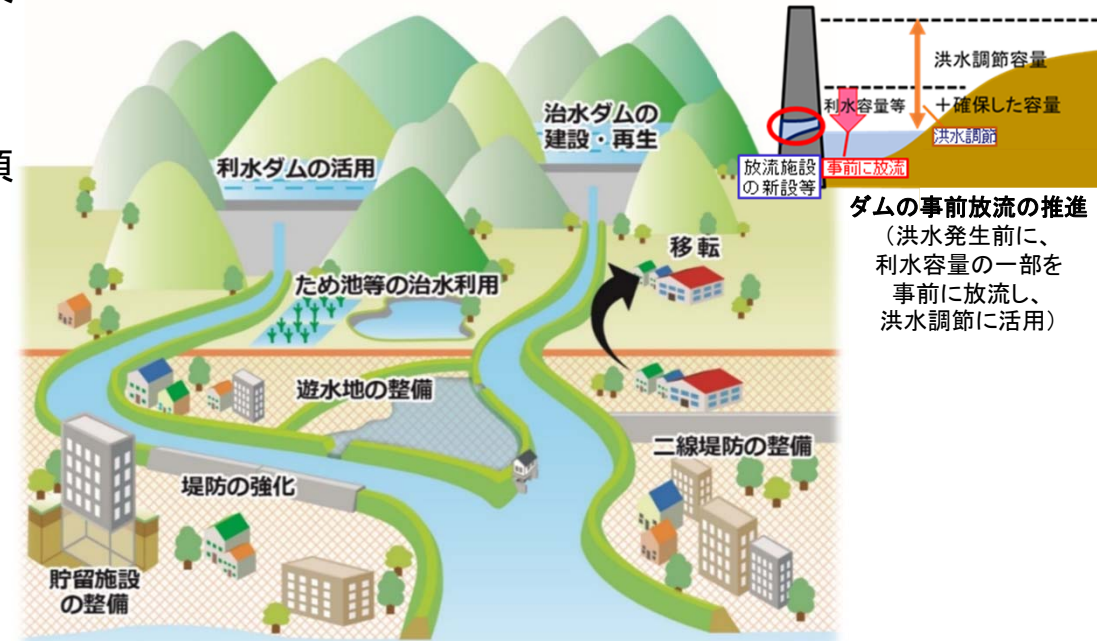
・排水機場等の整備により新たに湛水被害等が防止される農地及び周辺地域の達成率
 ⇒ 中長期の目標: 100%(約21万ha)(令和7年度)
 ※本対策による達成年次の前倒し 令和9年度 → 令和7年度

(国有地)

・新たに未活用の国有地を活用し、全国50ヶ所を目標に、遊水地・貯留施設の整備に取り組む。

◆5年後(令和7年度)の状況

(河川・ダム) 達成目標: 約73%(1級河川)、約71%(2級河川)
 (農業水利施設) 達成目標: 100%(約21万ha)
 (国有地) 達成目標: 100%(令和7年度までのできるだけ早い時期を目指す)

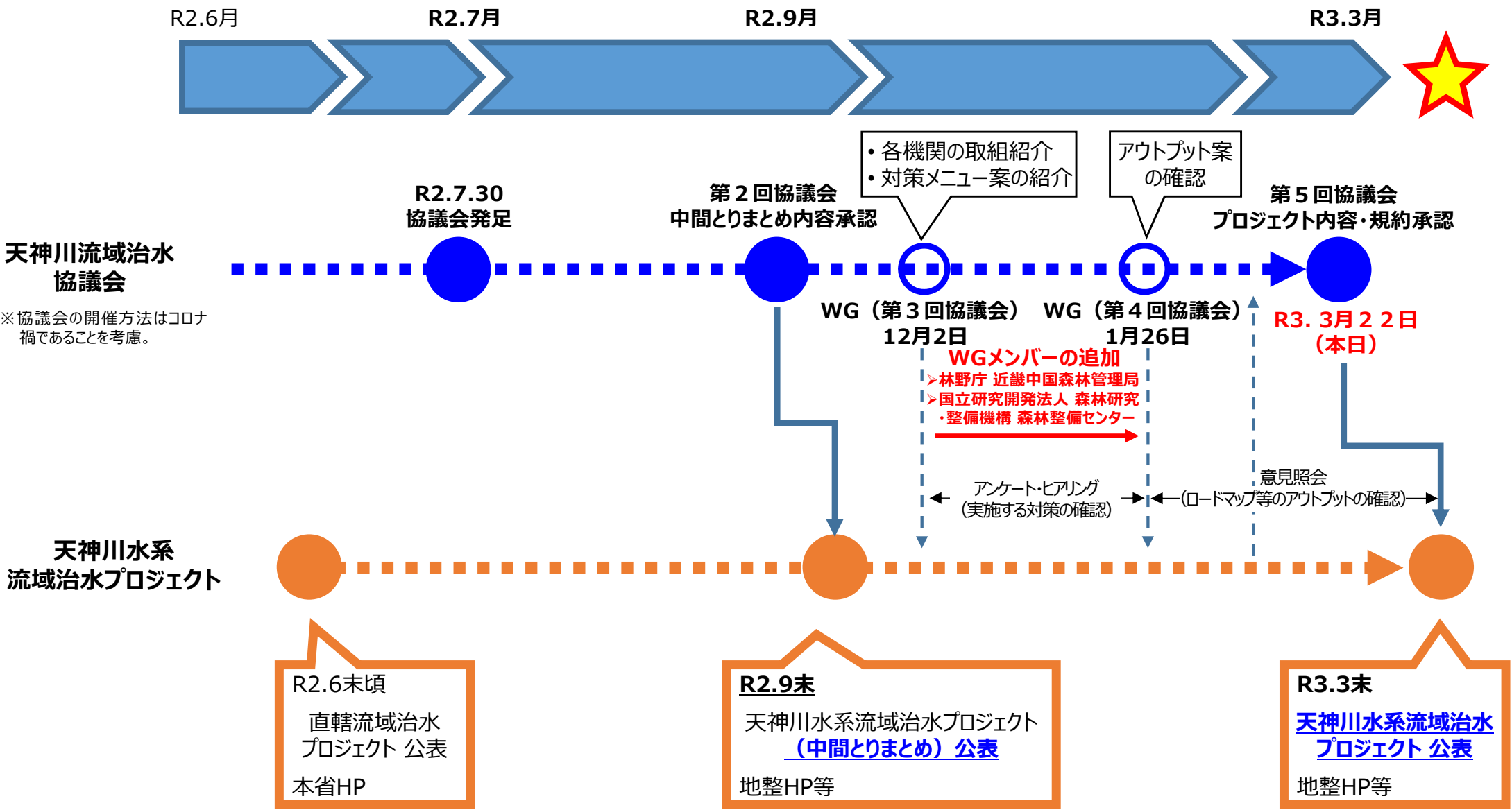


◆実施主体 国、水資源機構、都道府県、市町村、土地改良区等

関係省庁が連携した流域治水対策

天神川水系流域治水プロジェクトのこれまでの検討経緯

- 令和2年7月に天神川流域治水協議会が発足し、同年9月末に、天神川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】を公表
- 第1回ワーキンググループでは、各機関が実施している取組の紹介や流域治水協議会で取り組む対策メニュー案の紹介
- 第1回ワーキンググループ後に、林野庁、近畿中国森林管理局、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターがワーキンググループに参加
- 第2回ワーキンググループでは、関係機関へのアンケートやヒアリングを基に作成したロードマップ等のアウトプットを確認
- 意見照会を経て、天神川水系流域治水プロジェクト（案）をとりまとめた



天神川水系流域治水プロジェクトの作成概要

- 第1回ワーキンググループ後にアンケート・ヒアリングを実施し、対策メニュー（案）を抽出
- 各対策メニュー案について、実施機関と具体的な実施内容や実施場所、目標年次を整理し、「対策メニュー及び各機関の取組内容」を作成
- 「対策メニュー及び各機関の取組内容」を基に、天神川水系流域治水プロジェクトの【位置図】と【ロードマップ・効果】を作成

天神川流域治水プロジェクトの取組に関するアンケート調査

1 天神川水系流域治水プロジェクト(中期と長期)【(質問1)P.8参照】の取組内容、【(質問2)P.9参照】の取組内容について選択してください。

No.	選択	実施内容	実施状況
1	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
2	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
3	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
4	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
5	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
6	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
7	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
8	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
9	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
10	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
11	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
12	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
13	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
14	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
15	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
16	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
17	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
18	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
19	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
20	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
21	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
22	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
23	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
24	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
25	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
26	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
27	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
28	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
29	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
30	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
31	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
32	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
33	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
34	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
35	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
36	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
37	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
38	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
39	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
40	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
41	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
42	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
43	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
44	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
45	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
46	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
47	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
48	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
49	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
50	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み

2 ワーキンググループ会議で検討した天神川水系流域治水対策メニュー(案)のうち、関心がある項目について、選択してください。

No.	選択	実施内容	実施状況
1	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
2	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
3	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
4	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
5	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
6	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
7	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
8	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
9	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
10	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
11	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
12	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
13	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
14	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
15	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
16	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
17	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
18	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
19	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
20	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
21	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
22	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
23	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
24	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
25	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
26	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
27	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
28	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
29	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
30	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
31	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
32	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
33	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
34	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
35	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
36	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
37	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
38	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
39	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
40	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
41	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
42	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
43	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
44	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
45	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
46	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
47	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
48	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
49	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み
50	○	河川整備(河川改修、河川改修)の整備	実施済み

対策メニュー 実施概要 (倉吉河川国道事務所の例)

対策メニュー	実施機関										実施概要					
	倉吉市	三朝町	道取浜町	北栄町	林野庁	森林整備センター	鳥取県	鳥取県	鳥取県	鳥取県	鳥取県	実施	関心あり	実施内容	目標年次	実施場所
1 河川改修、堤防整備、堤防・河岸侵食対策、樹木伐採、堤防強化 等	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	河川改修、護岸整備	～R12	三江、下福田、生竹など
2 二級河川の河道拡張、河川改修、樹木伐採、堤防強化、河口閉塞対策等による氾濫水排除、「粘り強い堤防」を目指した堤防強化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	粘り強い堤防を目指した堤防強化・実施済み	従前より実施	事務所管内
3 排水ポンプ場の整備、耐水化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	関係機関との連絡調整	未定	中津ダム
4 中津ダムにおける事前放流の実施、体制構築	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	関係機関との連絡調整	未定	中津ダム
5 下水道等の排水施設、排水路の整備、雨水貯留施設等の整備、各戸貯留浸透施設の利用補助	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	関係機関との連絡調整	未定	天神川流域全体的
6 砂防関係施設・治山施設の整備・長寿命化対策	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	砂防関係の整備及び補修	未定	天神川流域全体的
7 間伐等の森林整備	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	関係機関との連絡調整	未定	天神川流域全体的

全参加機関を対象に実施

アンケートで実施するとチェックがつけられた項目を一覧に整理

チェックした機関を星取表で整理

実施概要 (倉吉河川国道事務所の例)

実施内容	目標年次	実施場所
河川改修、護岸整備	～R12	三江、下福田、生竹など
粘り強い堤防を目指した堤防強化・実施済み	従前より実施	事務所管内
関係機関との連絡調整	未定	中津ダム
砂防関係の整備及び補修	未定	天神川流域全体的

アンケート調査票

対策メニューおよび各機関の取組内容

天神川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～急流河川に備え、未来の営みを守るプロジェクト「清流 天神川」～

令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、天神川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の昭和34年伊勢湾台風と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。天神川は中国地方でも有数の急流河川であり、降雨が急激な水位上昇に結び付きやすく、さらに洪水時に川水位よりも周辺の地盤が低く、氾濫とその影響は広範囲に及ぶため、洪水時の水位を下げる河川改修や内水被害を軽減する排水ポンプ場の整備など、あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含む確実な避難行動に資する情報発信を実施する位置図

位置図

- 浸水想定区域 (令和34年洪水と同等規模想定)
- 大臣管理区間
- 市町域
- 流域
- 砂防堤の整備場所
- 高麗位置
- まるとちこちハザードマップの実施場所

対策を実施する位置図

- 河川改修、堤防整備、堤防・河岸侵食対策、樹木伐採、堤防強化
- 二級河川の河道拡張、河川改修、樹木伐採、堤防強化、河口閉塞対策等による氾濫水排除、「粘り強い堤防」を目指した堤防強化
- 排水ポンプ場の整備、耐水化
- 中津ダムにおける事前放流の実施、体制構築
- 下水道等の排水施設、排水路の整備、雨水貯留施設等の整備、各戸貯留浸透施設の利用補助
- 砂防関係施設・治山施設の整備・長寿命化対策
- 間伐等の森林整備

被害対象を減少させるための対策

- 土地利用規制・誘導
- 現存する緑地の保全・有効活用
- 土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建築等への支援

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 水計・監視カメラの設置
- 河川監視カメラを利用した河川管理の高度化
- リアルタイム雨量・水位データを用いた洪水予測システム、避難情報提供のための浸水表示システムの開発
- 内水やため池ハザードマップの作成及び活用した避難訓練の実施
- まるとちこちハザードマップの作成
- 支えあふみの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
- ハザードマップを活用したタイムラインの作成支援
- 関係機関と連携した多機関連携型タイムラインの活用
- 防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- あんしんリーダー等を活用した防災情報の提供
- 市町観光施設等への伝達手段の整備
- 委託業者利用施設避難確保計画や民間企業におけるBCP作成支援
- 感染症にも配慮した避難環境整備や災害協定による避難先の確保
- 土砂災害警戒区域の指定及び土砂災害警戒区域の指定区域の確保
- 防災インフラの機能確保及び水防活動に関する資機材や水防団員の確保

天神川水系流域治水プロジェクト【位置図】

天神川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

急流河川に備え、未来の営みを守るプロジェクト「清流 天神川」～流域治水対策の推進～

天神川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】天神川中上流部等での浸水被害を防ぐための河川改修、堤防強化、河口閉塞対策等による氾濫水排除、「粘り強い堤防」を目指した堤防強化
- 【中長期】気候変動を考慮し、より大規模の洪水による浸水被害を防ぐため、天神川中下流部の河川改修や固定堰改築等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。あわせて、避難計画策定・ハザードマップの作成と実践的な訓練・排水計画の策定などソフト対策を継続的に実施し、気候変動を考慮した「ロードマップ」を策定し、浸水被害をゼロを目指す。

気候変動を考慮し、より大規模な洪水を安全に流すための対策を検討。

現在

- 浸水想定区域
- 浸水想定区域
- 浸水想定区域
- 浸水想定区域
- 浸水想定区域

短期

河川改修により浸水が解消

河川改修により浸水が解消

堤防強化により浸水が解消

中長期

気候変動を考慮し、より大規模な洪水を安全に流すための対策を検討。

天神川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】